

京都市立芸術大学・Kyoto City University of Arts

住所: [京都市西京区大枝沓掛町 13-6](#)

Address: 13-6 Kutsukake-cho, Oe, Nishikyo-ku, Kyoto 610-1197, Japan

WEB: www.kcua.ac.jp



【大学院】

専攻分野	専攻細目	募集人員
絵画専攻	日本画 油画 構想設計 版画	26名
彫刻専攻	彫刻	5名
デザイン専攻	ビジュアル・デザイン 環境デザイン プロダクト・デザイン	9名
工芸専攻	陶磁器 漆工 染織	13名
芸術学専攻	芸術学	3名
保存修復専攻	保存修復	2名

大学院 修士課程

絵画専攻	
日本画	各自の設定したテーマで日本画を制作する/「特殊演習」制作に関わり、研究すべき課題を設定する
油画	各自のテーマに沿った自主制作を行う/「特殊演習」個人の表現手段から離れ、見学・ディスカッション・展示・発表などの多角的な演習を通じて制作意欲を高める
版画	各自の研究届をもとに、教員と研究・制作計画を策定する/4版種の工房制作を土台に、版種横断的制作、写真・デジタル処理を含む複製メディアを活用した制作等、より高度な技法展開を見据えた現代の版画表現を追求する
構想設計	各自の設定したテーマを基に、専門的な表現と知を結びつける技法の可能性を探求する/ゼミ形式で各自の問題意識を共有し、他者と意見交換するプロセスを通じて、制作・研究に関する強度を育成していく

彫刻専攻	
彫刻	自由な発想と展開による制作研究を通して、独自の観点を探求することの重要性を理解し、自身の表現とアイデンティティの確立、社会にける実践と検証を視野に入れた各自の表現活動を研究考察する/「特殊演習」各自の制作活動の内容に囚われることなく、有益と思われるテーマを取り上げて理論研究と演習を行う

デザイン専攻	
ビジュアル・デザイン	グラフィック・デザイン系、写真・映像情報設計系、テキスタイル・デザイン系の3系列のいずれかの専門分野を選択し、自己のテーマを設定して計画を立て実行する/日常的に教員とディスカッションを行い、思考の進化とコンセプトの確認を図りつつ、今日的要望に応えられるデザイナーとして、関連分野への多様な展開を目指す
環境デザイン	より優れた地球環境、都市景観、ユニバーサルデザインの実現に向けた問題意識を持ち、現状と理論の把握から実践に至るまでの包括的な研究を行う/人体から都市までの様々な形状・大きさ・動き・使用期間・それらの相互関係を理解したうえで持続的な人間社会の形成に貢献できるデザインの制作方法を学ぶ
プロダクト・デザイン	各自がテーマを見つけ、理論的かつ実践的に具体的デザイン提案ができる研究者を養成することを目指す/1年次は今日の社会問題と関わりのあるテーマ設定を行う/2年次はテーマをより発展させて修了研究・制作としてまとめる

工芸専攻	
陶磁器	陶磁器による表現について、歴史的観点をふまつつ現代性を多角的に問い制作と倫理の関係を明確にすることを目的に各自のテーマに基づいた自主的な制作・研究を行う/ゼミ単位でのチュートリアルを基本に、半期に一度のプレゼンテーションを節目として制作と思考との関連付けを明確にする
漆工	各自が提出する研究計画と、これまでに習得した技術をもとに、さらに伝統技法の研究や技法実験を行い、芸術的思考の深化と展開を促し、時代に対応する発想力の養成を目指す/「特殊演習」各自の制作に関わる問題のみならず、工芸全般、美術の領域にも視野を広げた体験を積み、理論的に指導を行う
染織	1年に数回の作品展示・合評・ミーティング等を節目として、各自が研究計画を立てて制作する/既に習得した技法だけでなく、幅広い視野と表現力を身につけ、創造力を深める

芸術学専攻	
芸術学	研究者の養成を目指す/専門分野と指導教員を定めて研究に従事し、専門性の高い授業を行う/一年に数回研究発表が課され、その成果を修士論文としてまとめる

保存修復専攻	
保存修復	日本・東洋の古典絵画を主要な研究対象として、保存修復に関する理論・技術を学ぶ/文化財を未来へ継承していく上での課題を解決できる人材を目指すため、伝統的な絵画技法の習得、芸術学・美術史学・保存科学等の理論を学び、横断教育を通じて芸術を多角的に理解する能力を養う/伝統絵画の表装に関する装コウ技術の実習を通して修復技術を体得する/自ら課題を設定して研究・制作に取り組む